

得を求めすぎて損をしないための 3つの言葉



リスクを防ぐ3つの言葉

株式売買も投資ですから、ノーリスクとはいえません。そこで、投資を始める前には、リスクを少しでも低く抑えるための知識や事前準備が必要になります。

ここで説明するリスク軽減のポイントを守って投資をすれば、塩漬け株を抱え込まず、勝率を高めることができます。

初心者トレーダーが長期投資をする、値下がりがりした株をまだ傷が浅いうちに売り損ね、ズルズルと損切りできないままには塩漬けにしてしまいがち。だから、せいぜい「週間程度の売買サイクルで、例えば、「1割値下がりがりしたら必ず損切りする」というルー

ルを課して手早く回して行くことがおすすです。

まずは、初心者にありがちな失敗を防ぐために、次の3つの言葉を肝に命じておきましょう。

「せこい指値は禁物」

人は少しでもお得に買いたいと思ってしまうもの。そこで初心者はつい、株価がどんどん上がっているときには、

「今の株価よりもっと安く買いたい」

という気持ちが先に立って買えないことがあります。さらには、少しでも安いタイミングを逃さずに買おうと、今の株価よりも安く、指値注文（売買したい価格を指定する注文）を入れてしまうなんてこともありがち。しかし、株価の上昇局面では、天井つくまでは上がり続けます。今の株価よりも安くなったタイミングとは、天井を過ぎて、下がる局面に入ってしまったというサインなのです。上

